



アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型

追加型投信／海外／株式

第55期(決算日2019年3月28日) 第56期(決算日2019年5月7日) 第57期(決算日2019年5月28日)
第58期(決算日2019年6月28日) 第59期(決算日2019年7月29日) 第60期(決算日2019年8月28日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年8月28日(信託設定日)から2024年8月28日まで	
運用方針	①アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式に分散投資することにより、長期的な信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ②実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主運用対象	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	主としてアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの受益証券に投資します。
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	主として新興国の株式に投資します。
組入制限	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	①株式への実質投資割合は、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月決算を行い、毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型」は、このたび第60期の決算を行いました。

ここに、第55期から第60期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			ベンチ マーク		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	円	%	%	%	%	百万円	
31期(2017年3月28日)	9,675	0	1.8	9,970	1.2	97.5	—	1,333	
32期(2017年4月28日)	10,078	0	4.2	10,180	2.1	96.1	—	1,501	
33期(2017年5月29日)	10,329	100	3.5	10,587	4.0	97.0	—	1,609	
34期(2017年6月28日)	10,474	100	2.4	10,700	1.1	94.2	—	1,843	
35期(2017年7月28日)	10,769	100	3.8	11,206	4.7	92.3	—	2,285	
36期(2017年8月28日)	10,659	100	△ 0.1	11,191	△ 0.1	96.6	—	2,675	
37期(2017年9月28日)	10,855	200	3.7	11,536	3.1	96.4	—	3,203	
38期(2017年10月30日)	11,017	200	3.3	11,970	3.8	96.3	—	3,681	
39期(2017年11月28日)	10,969	200	1.4	12,042	0.6	96.8	—	4,392	
40期(2017年12月28日)	10,856	100	△ 0.1	12,340	2.5	96.2	—	5,201	
41期(2018年1月29日)	11,340	200	6.3	13,155	6.6	93.5	—	5,982	
42期(2018年2月28日)	10,676	100	△ 5.0	12,388	△ 5.8	95.7	—	6,431	
43期(2018年3月28日)	10,290	100	△ 2.7	11,916	△ 3.8	96.6	—	6,624	
44期(2018年5月1日)	10,217	0	△ 0.7	12,155	2.0	95.9	—	7,503	
45期(2018年5月28日)	10,131	100	0.1	11,905	△ 2.1	95.0	—	7,506	
46期(2018年6月28日)	9,533	0	△ 5.9	11,117	△ 6.6	94.1	—	7,054	
47期(2018年7月30日)	9,863	0	3.5	11,719	5.4	93.0	2.3	7,217	
48期(2018年8月28日)	9,239	0	△ 6.3	11,501	△ 1.9	97.6	1.8	6,537	
49期(2018年9月28日)	8,906	0	△ 3.6	11,577	0.7	95.9	3.0	6,127	
50期(2018年10月29日)	7,525	0	△ 15.5	10,209	△ 11.8	97.5	1.6	5,028	
51期(2018年11月28日)	7,875	0	4.7	10,831	6.1	97.4	1.6	5,143	
52期(2018年12月28日)	7,478	0	△ 5.0	10,293	△ 5.0	97.8	1.2	4,690	
53期(2019年1月28日)	8,082	0	8.1	10,997	6.8	98.2	0.8	5,022	
54期(2019年2月28日)	8,562	0	5.9	11,476	4.4	96.2	2.3	5,164	
55期(2019年3月28日)	8,571	0	0.1	11,251	△ 2.0	98.0	1.2	5,116	
56期(2019年5月7日)	8,851	0	3.3	11,507	2.3	94.2	—	5,208	
57期(2019年5月28日)	8,362	0	△ 5.5	10,625	△ 7.7	93.3	1.8	4,791	
58期(2019年6月28日)	8,651	0	3.5	11,209	5.5	96.1	2.3	4,822	
59期(2019年7月29日)	8,725	0	0.9	11,263	0.5	96.4	0.7	4,695	
60期(2019年8月28日)	7,971	0	△ 8.6	10,120	△ 10.1	98.8	—	4,194	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式組入比率には、オプション証券等を含みます。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

※ベンチマークについて
 当ファンドのベンチマークは「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」です。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。ここでは当初設定日（2014年8月28日）を10,000として指数化しております。MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		株組入比率	株先物比率
		円	騰落率		騰落率		
第55期	(期首) 2019年2月28日	8,562	—	11,476	—	96.2	2.3
	(期末) 2019年3月28日	8,571	0.1	11,251	△2.0	98.0	1.2
第56期	(期首) 2019年3月28日	8,571	—	11,251	—	98.0	1.2
	3月末	8,698	1.5	11,333	0.7	97.0	1.2
	4月末	9,096	6.1	11,776	4.7	97.2	0.6
	(期末) 2019年5月7日	8,851	3.3	11,507	2.3	94.2	—
第57期	(期首) 2019年5月7日	8,851	—	11,507	—	94.2	—
	(期末) 2019年5月28日	8,362	△5.5	10,625	△7.7	93.3	1.8
第58期	(期首) 2019年5月28日	8,362	—	10,625	—	93.3	1.8
	5月末	8,341	△0.3	10,669	0.4	93.4	1.1
	(期末) 2019年6月28日	8,651	3.5	11,209	5.5	96.1	2.3
第59期	(期首) 2019年6月28日	8,651	—	11,209	—	96.1	2.3
	(期末) 2019年7月29日	8,725	0.9	11,263	0.5	96.4	0.7
第60期	(期首) 2019年7月29日	8,725	—	11,263	—	96.4	0.7
	7月末	8,695	△0.3	11,225	△0.3	97.4	0.7
	(期末) 2019年8月28日	7,971	△8.6	10,120	△10.1	98.8	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

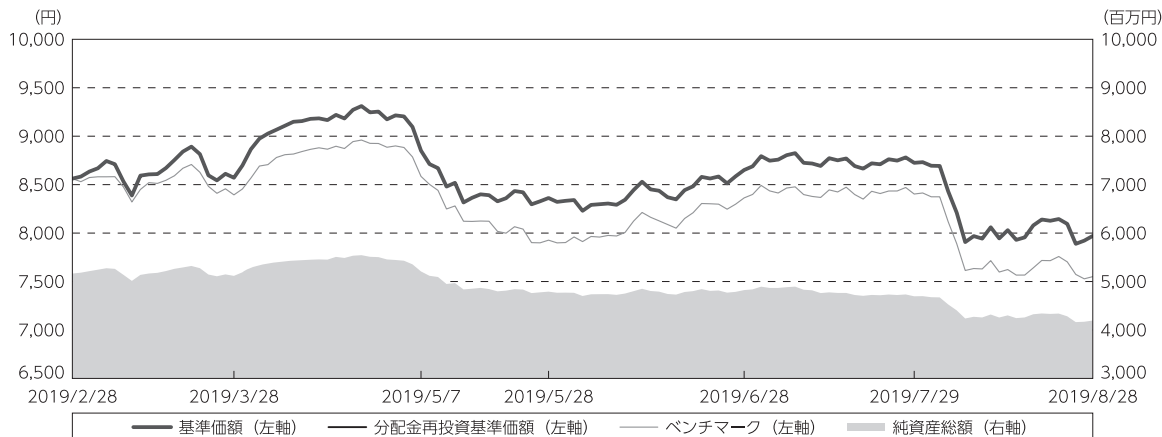
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

運用経過

アラリアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

（2019年3月1日～2019年8月28日）



第55期首：8,562円

第60期末：7,971円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 6.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2019年2月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前作成期末比－6.9%*と、ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）の同－11.8%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、各決算期末の税込み分配金を当概決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

成長の可能性が高いと判断し保有した新興国株式が下落したことに加え、為替相場が円高ドル安となったことから、基準価額は下落しました。

投資環境

(2019年3月1日～2019年8月28日)

【株式市場】

新興国株式市場は、米中貿易摩擦の動向や米国の利下げ観測などに左右されるなか、前作成期末比で下落しました。

当作成期初から2019年4月にかけては、米中通商協議の進展への期待などを背景に投資家のリスク選好度が高まり、おおむね堅調に推移しました。しかし5月には、米中貿易摩擦が再燃したことから大幅に下落しました。6月から7月にかけては、世界的な貿易摩擦への懸念が後退したことや各国の中央銀行による金融緩和期待を背景に再び上昇したものの、その後当作成期末にかけては、米中貿易摩擦への根強い懸念などから軟調に推移しました。

【為替市場】

円ドル相場は、前作成期末比で円高ドル安となりました。

当作成期初は1ドル=111円台でしたが、2019年3月下旬にかけては、米連邦準備理事会（FRB）が年内の利上げ見送りを示したことなどから若干の円高基調で推移しました。その後、好調な米国経済指標や米国企業決算を背景にドルが反発し、4月下旬には1ドル=112円台まで円安ドル高が進みました。しかし、5月以降は、米中通商協議の不透明感が再び高まったことから円高ドル安に転じ、当作成期末は1ドル=105円台となりました。

運用概況

(2019年3月1日～2019年8月28日)

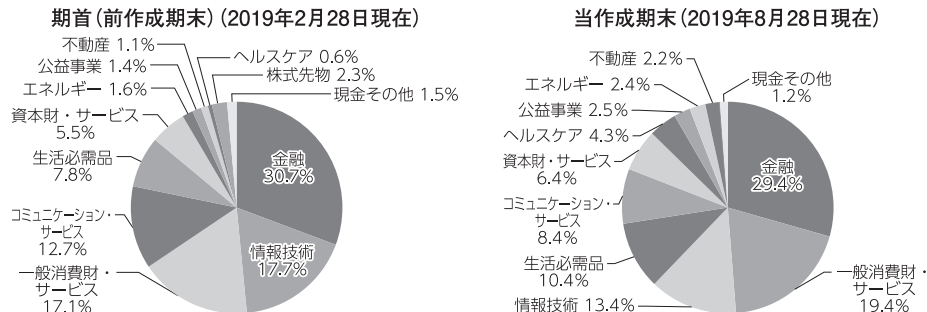
当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式に分散投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

当ファンドは当作成期間を通じて、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

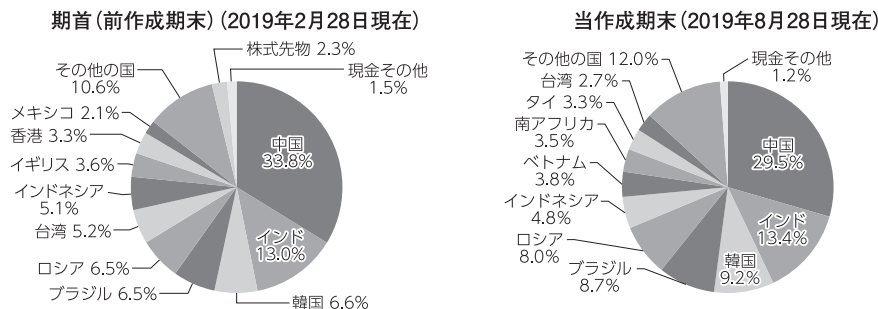
<マザーファンド>

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、市場のダウンサイド・リスクに注視しながらも、長期的な成長トレンドに支えられる、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

マザーファンドのセクター別組入比率



マザーファンドの国別組入比率



※組入比率はアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 ※セクター別組入比率は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。
 ※国別組入比率は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

その結果、セクター別では、生活必需品セクターやヘルスケア・セクターなどの組入比率が上昇した一方、情報技術セクターやコミュニケーション・サービス・セクターなどの組入比率が減少しました。国別では、韓国やベトナムなどの組入比率が上昇した一方、中国や台湾などの組入比率が減少しました。

個別銘柄では、中国の保険会社の中国平安保険（集団）（ピンアン・インシュアランス）などを買増したほか、メキシコの総合飲料会社のフォメント・エコノミコ・メヒカーノなどを新たに組み入れました。一方、中国のインターネット・サービス会社のテンセント・ホールディングスなどを一部売却したほか、香港の保険会社のA I Aグループなどを全て売却しました。

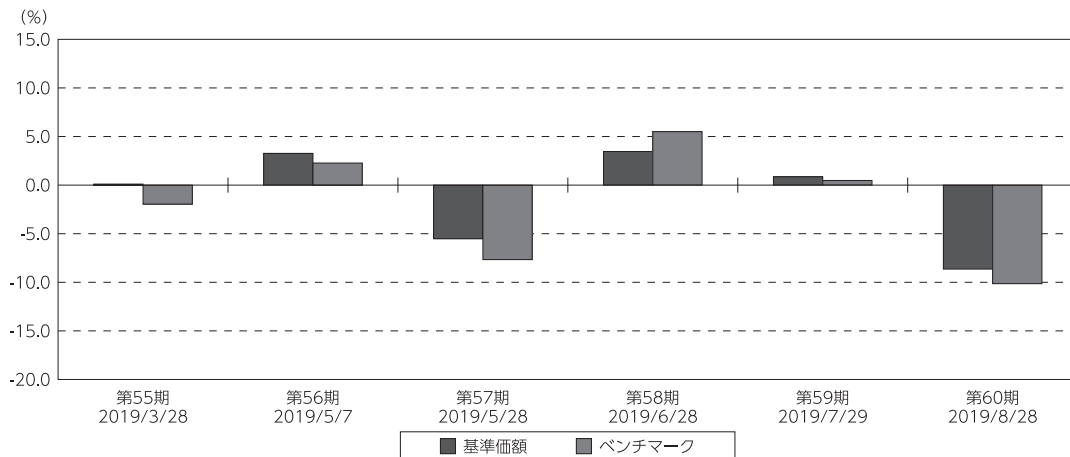
株式の組入比率は当作成期間を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年3月1日～2019年8月28日）

ベンチマークとの比較では、当作成期間は、セクター配分、銘柄選択ともにプラス要因となりました。
 セクター配分では、素材セクターのアンダーウェイトや一般消費財・サービス・セクターのオーバーウェイトなどがプラスとなりました。
 銘柄選択では、一般消費財・サービス・セクターや生活必需品セクターなどでの選択がプラスとなりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。

分配金

(2019年3月1日～2019年8月28日)

当作成期間の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、見送ることとしました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
	2019年3月1日～ 2019年3月28日	2019年3月29日～ 2019年5月7日	2019年5月8日～ 2019年5月28日	2019年5月29日～ 2019年6月28日	2019年6月29日～ 2019年7月29日	2019年7月30日～ 2019年8月28日
当期分配金	—	—	—	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,273	1,300	1,311	1,351	1,362	1,362

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

新興国市場では国やセクター間、企業間のファンダメンタルズの格差が大きく、また為替や金利への感応度にも差が大きいことから、選別的なアクティブ投資に適した環境と考えています。

マザーファンドでは個別企業のファンダメンタルズにフォーカスし、長期的な観点から高いオリティや財務健全性が過小評価されている企業、あるいは力強い成長性を持ち、魅力的な長期トレンドを捉えている企業に重点的に投資していく考えです。また、リスク管理の観点から経済サイクルやマクロ経済上のリスクを抑制し、企業統治の劣る企業を避けるとともに、経済的および政治的リスクのある国については慎重に対応します。引き続きマザーファンドが採用する地域横断的な独自の個別銘柄リサーチにより、利益率が高く長期に利益成長性が高い魅力的な企業を発掘することに努めます。

今後も投資環境の変化に注意を払いながら運用にあたり、運用成果の向上に全力で取り組んでいく所存です。引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2019年3月1日～2019年8月28日)

項 目	第55期～第60期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	78	0.897	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(42)	(0.481)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(32)	(0.374)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	13	0.149	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(12)	(0.137)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（ オ プ シ ョ ン 証 券 等 ）	(1)	(0.010)	
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	11	0.129	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(11)	(0.129)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ オ プ シ ョ ン 証 券 等 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.046	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0.024)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	106	1.221	
作成期間中の平均基準価額は、8,673円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月1日～2019年8月28日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第55期～第60期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	72,235	164,729	387,031	869,740

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年3月1日～2019年8月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第55期～第60期
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	25,731,728千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	14,783,144千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.74

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月1日～2019年8月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月28日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第54期末		第60期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド			2,329,616		2,014,820	4,193,849

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年8月28日現在)

項	目	第60期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド		4,193,849	99.6
コール・ローン等、その他		18,159	0.4
投資信託財産総額		4,212,008	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドにおいて、第60期末における外貨建純資産（13,818,783千円）の投資信託財産総額（13,864,941千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、第60期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=105.73円、1メキシコペソ=5.29円、1ブラジルレアル=25.59円、1ユーロ=117.20円、1英ポンド=129.87円、1香港ドル=13.48円、1マレーシアリングット=25.15円、1タイバーツ=3.45円、1フィリピンペソ=2.02円、100インドネシアルピア=0.74円、100韓国ウォン=8.72円、1新台幣ドル=3.37円、1インドルピー=1.49円、1ケニアシリング=1.02円、1南アフリカランド=6.89円、1中国元=14.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	第60期末
	2019年3月28日現在	2019年5月7日現在	2019年5月28日現在	2019年6月28日現在	2019年7月29日現在	2019年8月28日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	5,133,605,469	5,240,974,099	4,804,751,439	4,854,751,738	4,717,129,525	4,212,008,700
コール・ローン等	2,758,395	8,807,446	2,935,060	109,460	802,751	289,237
アライアンス・バーンスタイン・新興国 成長株マザーファンド(評価額)	5,115,567,074	5,148,626,653	4,789,366,379	4,822,562,278	4,694,766,774	4,193,849,463
未収入金	15,280,000	83,540,000	12,450,000	32,080,000	21,560,000	17,870,000
(B) 負債	16,900,946	32,793,948	13,594,740	31,824,301	21,815,697	17,436,777
未払解約金	9,507,196	21,871,737	8,398,415	24,330,196	14,302,167	10,813,568
未払信託報酬	7,242,063	10,698,122	5,089,728	7,340,382	7,359,406	6,487,351
未払利息	—	25	6	—	2	—
その他未払費用	151,687	224,064	106,591	153,723	154,122	135,858
(C) 純資産総額(A－B)	5,116,704,523	5,208,180,151	4,791,156,699	4,822,927,437	4,695,313,828	4,194,571,923
元本	5,969,943,932	5,884,032,038	5,729,790,996	5,575,117,254	5,381,170,062	5,262,443,734
次期繰越損益金	△ 853,239,409	△ 675,851,887	△ 938,634,297	△ 752,189,817	△ 685,856,234	△1,067,871,811
(D) 受益権総口数	5,969,943,932口	5,884,032,038口	5,729,790,996口	5,575,117,254口	5,381,170,062口	5,262,443,734口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,571円	8,851円	8,362円	8,651円	8,725円	7,971円

(注) 第55期首元本額6,031,404,464円、第55～60期中追加設定元本額237,775,797円、第55～60期中一部解約元本額1,006,736,527円。第60期末現在における1口当たり純資産額0.7971円。

(注) 第60期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△1,067,871,811円です。

○損益の状況

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
	2019年3月1日～ 2019年3月28日	2019年3月29日～ 2019年5月7日	2019年5月8日～ 2019年5月28日	2019年5月29日～ 2019年6月28日	2019年6月29日～ 2019年7月29日	2019年7月30日～ 2019年8月28日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 136	310	△ 85	△ 11	△ 25	△ 14
その他収益金	—	1,152	—	—	—	—
支払利息	△ 136	△ 842	△ 85	△ 11	△ 25	△ 14
(B) 有価証券売買損益	11,858,888	167,710,388	△ 275,074,171	168,606,102	47,676,569	△ 390,322,832
売買益	13,408,259	180,628,736	5,718,668	170,681,953	49,064,595	6,782,680
売買損	△ 1,549,371	△ 12,918,348	△ 280,792,839	△ 2,075,851	△ 1,388,026	△ 397,105,512
(C) 信託報酬等	△ 7,393,750	△ 10,922,195	△ 5,196,319	△ 7,494,105	△ 7,513,528	△ 6,623,209
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	4,465,002	156,788,503	△ 280,270,575	161,111,986	40,163,016	△ 396,946,055
(E) 前期繰越損益金	△ 1,199,524,311	△ 1,150,801,015	△ 967,127,985	△ 1,213,440,454	△ 1,015,663,978	△ 953,508,522
(F) 追加信託差損益金	341,819,900	318,160,625	308,764,263	300,138,651	289,644,728	282,582,766
(配当等相当額)	(639,784,512)	(633,329,366)	(617,085,751)	(600,468,477)	(579,587,979)	(566,874,179)
(売買損益相当額)	(△ 297,964,612)	(△ 315,168,741)	(△ 308,321,488)	(△ 300,329,826)	(△ 289,943,251)	(△ 284,291,413)
(G) 計 (D + E + F)	△ 853,239,409	△ 675,851,887	△ 938,634,297	△ 752,189,817	△ 685,856,234	△ 1,067,871,811
(H) 収益分配金	0	0	0	0	0	0
次期繰越損益金 (G + H)	△ 853,239,409	△ 675,851,887	△ 938,634,297	△ 752,189,817	△ 685,856,234	△ 1,067,871,811
追加信託差損益金	341,819,900	318,160,625	308,764,263	300,138,651	289,644,728	282,582,766
(配当等相当額)	(639,811,181)	(633,584,434)	(617,096,020)	(600,469,242)	(579,588,352)	(566,876,510)
(売買損益相当額)	(△ 297,991,281)	(△ 315,423,809)	(△ 308,331,757)	(△ 300,330,591)	(△ 289,943,624)	(△ 284,293,744)
分配準備積立金	120,361,279	131,402,623	134,581,933	153,077,344	153,371,889	149,914,157
繰越損益金	△ 1,315,420,588	△ 1,125,415,135	△ 1,381,980,493	△ 1,205,405,812	△ 1,128,872,851	△ 1,500,368,734

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第55期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (661,887円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (639,811,181円) および分配準備積立金額 (119,699,392円) より分配対象収益額は760,172,460円 (10,000口当たり1,273円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第56期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (15,498,848円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (633,584,434円) および分配準備積立金額 (115,903,775円) より分配対象収益額は764,987,057円 (10,000口当たり1,300円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第57期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (6,733,286円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (617,096,020円) および分配準備積立金額 (127,848,647円) より分配対象収益額は751,677,953円 (10,000口当たり1,311円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第58期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (22,159,156円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (600,469,242円) および分配準備積立金額 (130,918,188円) より分配対象収益額は753,546,586円 (10,000口当たり1,351円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第59期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (5,627,958円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (579,588,352円) および分配準備積立金額 (147,743,931円) より分配対象収益額は732,960,241円 (10,000口当たり1,362円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第60期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (0円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (566,876,510円) および分配準備積立金額 (149,914,157円) より分配対象収益額は716,790,667円 (10,000口当たり1,362円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
1 万口当たり分配金（税込み）	0円	0円	0円	0円	0円	0円



アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド

第14期(決算日2019年8月28日)

(計算期間：2018年8月29日～2019年8月28日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	長期的な信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
主要運用対象	主として新興国の株式に投資します。
組入制限	①株式への投資には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資には制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	純資産額
	円	騰落率	円	騰落率				
10期(2015年8月28日)	18,497	△ 3.0	42,098	△ 11.1	98.7	—	—	百万円 9,710
11期(2016年8月29日)	17,876	△ 3.4	40,193	△ 4.5	98.2	—	—	7,917
12期(2017年8月28日)	24,012	34.3	53,012	31.9	97.5	—	—	11,573
13期(2018年8月28日)	23,695	△ 1.3	54,482	2.8	97.6	1.8	—	19,030
14期(2019年8月28日)	20,815	△ 12.2	47,940	△ 12.0	98.8	—	—	13,604

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券、オプション証券等を含みます。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率
	円	騰落率	円	騰落率			
(期首) 2018年8月28日	23,695	—	54,482	—	97.6	1.8	—
8月末	23,269	△ 1.8	53,845	△ 1.2	97.9	1.2	—
9月末	22,878	△ 3.4	54,838	0.7	95.9	3.0	—
10月末	19,394	△ 18.2	48,755	△ 10.5	95.0	3.3	—
11月末	20,616	△ 13.0	52,099	△ 4.4	98.7	0.5	—
12月末	19,301	△ 18.5	48,759	△ 10.5	97.9	1.2	—
2019年1月末	20,799	△ 12.2	52,122	△ 4.3	98.5	0.8	—
2月末	22,168	△ 6.4	54,361	△ 0.2	96.2	2.3	—
3月末	22,554	△ 4.8	53,683	△ 1.5	97.0	1.2	—
4月末	23,615	△ 0.3	55,784	2.4	98.3	0.6	—
5月末	21,683	△ 8.5	50,540	△ 7.2	93.4	1.1	—
6月末	22,520	△ 5.0	53,098	△ 2.5	96.1	2.3	—
7月末	22,673	△ 4.3	53,171	△ 2.4	97.4	0.7	—
(期末) 2019年8月28日	20,815	△ 12.2	47,940	△ 12.0	98.8	—	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※参考指数について

当ファンドの参考指数は「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ベース)」です。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ベース)」は、原則として基準価額計算前日付けのMSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース)の値を、委託会社が計算日付けの円ドル・レート(株式会社三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値)を用いて円換算したものです。

運用経過

アラライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2018年8月29日～2019年8月28日）

○基準価額の推移

基準価額は前期末比－12.2%となりました。

○基準価額の主な変動要因

成長の可能性が高いと判断し保有した新興国株式が下落したことに加え、為替相場が円高ドル安となったことから、基準価額は下落しました。

当期中の基準価額の推移
2018年8月29日～2019年8月28日



当期中の参考指数の推移
2018年8月29日～2019年8月28日



*参考指数については前ページ「※参考指数について」をご参照ください。

投資環境

（2018年8月29日～2019年8月28日）

【株式市場】

新興国株式市場は、米中貿易摩擦の動向や米国の利下げ観測などに左右されるなか、米ドルベースでは前期末比で下落しました。

期初から2018年12月下旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念や中国経済の成長減速への懸念などを背景に、軟調に推移しました。中国ファーウェイ社の幹部逮捕による米中関係悪化への懸念も、株価を下押ししました。12月末以降2019年4月にかけては、原油価格の上昇や米連邦準備理事会（FRB）が利上げに慎重な姿勢を示したこと、米中通商協議の進展への期待などを背景に投資家心理が好転したことから、おおむね堅調に推移しました。しかし5月には、米中貿易摩擦が再燃したことから大幅に下落しました。6月から7月にかけては、世界的な貿易摩擦への懸念が後退したことや各国の中央銀行による金融緩和期待を背景に再び上昇しましたが、その後期末にかけては、米中貿易摩擦への根強い懸念などから、軟調に推移しました。

【為替市場】

円ドル相場は、前期末比で円高ドル安となりました。

期初は1ドル=111円台でしたが、2018年12月中旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念など円高の材料はあったものの、米国金利の上昇に伴い円安ドル高基調で推移しました。しかし2019年1月初めには、世界的な株安や米国金利の低下を受けて、1ドル=107円台まで円高ドル安が急速に進みました。その後は、米中通商協議の進展期待から欧米の株式市場が反発したことで再び円安ドル高となり、4月下旬には1ドル=112円台まで戻しました。好調な米国経済指標や米国企業決算も円安ドル高の要因となりました。しかし5月以降は、米中通商協議の不透明感が再び高まったことから円高ドル安に転じ、当期末は1ドル=105円台となりました。

運用概況

(2018年8月29日～2019年8月28日)

当マザーファンドは、エマージング諸国の株式を対象に、ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

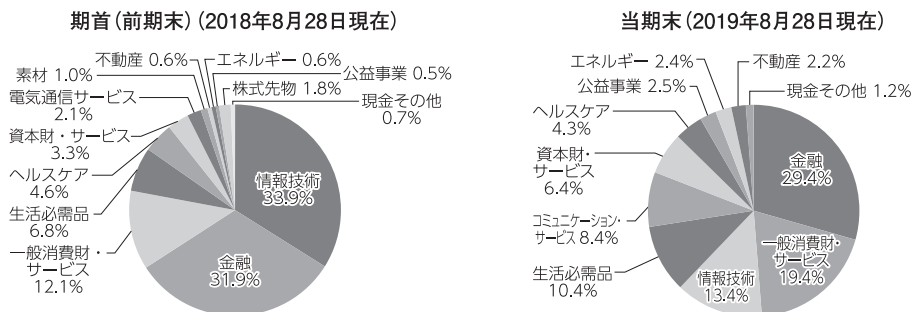
運用にあたっては、当期も引き続き、市場のダウンサイド・リスクに注視しながらも、長期的な成長トレンドに支えられる、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

その結果、セクター別では、一般消費財・サービス・セクターや生活必需品セクターの組入比率が上昇しました。一方、素材セクターの銘柄を全て売却したほか、金融セクターの組入比率が減少しました。国別では、韓国やブラジルの組入比率が上昇する一方、中国やインドの組入比率が減少しました。

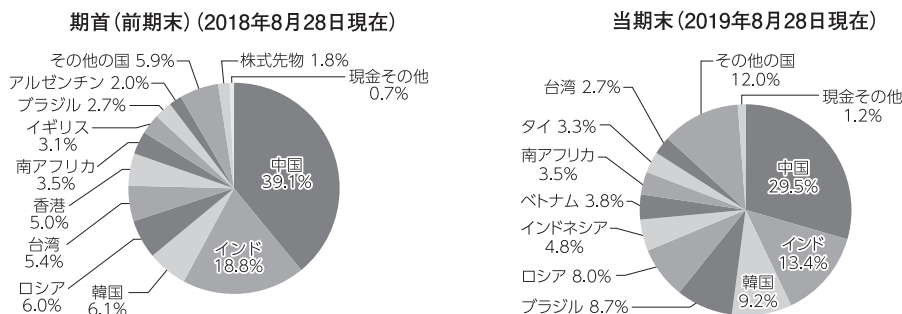
個別銘柄では、ブラジルの石油会社のペトロプラスなどを買い増したほか、中国の保険会社の中国平安保険(集団)(ピンアン・インシュアランス)などを新たに組み入れました。一方、中国のインターネット・サービス会社のテンセント・ホールディングスなどを一部売却したほか、香港の保険会社のA I Aグループなどを全て売却しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

セクター別組入比率



国別組入比率



※組入比率はアライアンス・バーンスタイン新興国成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 ※セクター別組入比率は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。
 ※当期中にGICSによるセクター分類が一部変更されており、当期末は変更後の分類で表示しています。
 ※国別組入比率は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

今後の運用方針

新興国市場では国やセクター間、企業間のファンダメンタルズの格差が大きく、また為替や金利への感応度にも差が大きいことから、選別的なアクティブ投資に適した環境と考えています。

当マザーファンドでは個別企業のファンダメンタルズにフォーカスし、長期的な観点から高いクオリティや財務健全性が過小評価されている企業、あるいは力強い成長性を持ち、魅力的な長期トレンドを捉えている企業に重点的に投資していく考えです。また、リスク管理の観点から経済サイクルやマクロ経済上のリスクを抑制し、企業統治の劣る企業を避けるとともに、経済的および政治的リスクのある国については慎重に対応します。引き続き、当マザーファンドが採用する地域横断的な独自の個別銘柄リサーチにより、利益率が高く長期に利益成長性が高い魅力的な企業を発掘することに努めます。

今後も投資環境の変化に注意を払いながら運用にあたり、運用成果の向上に全力で取り組んでいく所存です。引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年8月29日～2019年8月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (オ プ シ ョ ン 証 券 等) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	円 50 (45) (4) (1)	% 0.228 (0.208) (0.017) (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (オ プ シ ョ ン 証 券 等)	46 (46) (0)	0.213 (0.213) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	16 (12) (3)	0.073 (0.057) (0.016)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	112	0.514	
期中の平均基準価額は、21,789円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

オプション証券等

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外国	アメリカ	証券	千米ドル	証券	千米ドル
		2,487,375 (378,189)	4,848 (566)	772,325 (162,871)	898 (566)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使(株式転換)、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	株式先物取引	百万円	百万円	百万円	百万円
		6,258	6,551	—	—

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

○株式売買比率

(2018年8月29日～2019年8月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	40,834,913千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,196,955千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.68

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額(外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額)の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月29日～2019年8月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月28日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期 末		業 種 等
			評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR	748	512	8,512	899,984	小売
BANCO MACRO SA-ADR	585	—	—	—	銀行
58.COM INC-ADR	294	218	1,128	119,308	メディア・娯楽
FOUR SEASONS EDUCATION CAYMAN ADR	566	566	127	13,469	消費者サービス
ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	1,558	—	—	—	銀行
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	—	415	4,502	476,068	消費者サービス
ZTO EXPRESS CAYMAN INC-ADR	208	—	—	—	運輸
BAOZUN INC SPN ADR	608	401	1,691	178,793	小売
CTRIIP.COM INTERNATIONAL-ADR	1,643	—	—	—	小売
51JOB INC-ADR	233	28	187	19,819	商業・専門サービス
GRUPO FINANCIERO GALICIA-ADR	312	—	—	—	銀行
HUAZHU GROUP LDR-ADR	—	92	299	31,657	消費者サービス
MICRON TECHNOLOGY INC	—	441	1,874	198,198	半導体・半導体製造装置
MOMO INC-SPON ADR	—	601	1,996	211,077	メディア・娯楽
YANDEX NV-A	550	1,088	3,973	420,107	メディア・娯楽
MAKEMYTRIP LTD	507	—	—	—	小売
GLOBALTRA-SPONS GDR REG S	3,291	788	673	71,180	運輸
LENTA LTD-REG S	1,612	—	—	—	食品・生活必需品小売り
MAIL.RU GROUP LTD-GDR REGS	161	—	—	—	メディア・娯楽
SBERBANK-SPONSORED ADR	2,124	2,820	3,716	392,998	銀行
TCS GROUP HOLDING-REG S	1,020	1,034	1,876	198,390	銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	16,027 9,009	30,559	3,231,052	<23.8%>
(メキシコ)			千メキシコペソ		
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	—	3,617	64,266	339,971	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	— 3,617	64,266	339,971	<2.5%>
(ブラジル)			千ブラジルレアル		
PETROBRAS-PETROLEO BRAS-PREF	2,372	3,862	9,400	240,548	エネルギー
ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF	—	1,641	5,502	140,803	銀行
LOCALIZA RENT A CAR	—	1,120	5,006	128,113	運輸
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	631	1,441	13,313	340,689	公益事業
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	—	2,974	12,788	327,250	各種金融
CVC BRASIL OPERADORA E AGENC	982	—	—	—	消費者サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,985 11,038	46,010	1,177,405	<8.7%>
(ユーロ…ギリシャ)			千ユーロ		
OPAP SA	1,345	3,090	2,842	333,193	消費者サービス
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,345 3,090	2,842	333,193	<2.4%>
(イギリス)			千英ポンド		
PRUDENTIAL PLC	2,342	—	—	—	保険
NMC HEALTH PLC	—	1,183	2,720	353,294	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,342 1,183	2,720	353,294	<2.6%>

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末) 当期 期末				業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円		
TRAVELSKY TECHNOLOGY LTD-H	—	1,240	1,907	25,707	ソフトウェア・サービス	
TONGDA GROUP HOLDINGS LTD	64,200	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CNOOC LTD	—	6,110	6,684	90,104	エネルギー	
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	—	4,285	38,650	521,011	保険	
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	34,620	—	—	—	銀行	
IND & COMM BANK OF CHINA-H	12,040	—	—	—	銀行	
SUNNY OPTICAL TECHNOLOGY GROUP	2,365	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
AIA GROUP LTD	7,294	—	—	—	保険	
CHINA MEDICAL SYSTEM HOLDING	18,340	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
XIAOMI CORPORATION	4,004	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
FU SHOU YUAN INTERNATIONAL	—	19,490	13,896	187,323	消費者サービス	
JINXIN FERTILITY GROUP LTD	—	16,852	16,177	218,078	ヘルスケア機器・サービス	
TENCENT HOLDINGS LTD	2,328	398	12,982	175,007	メディア・娯楽	
XIABUXIABU CATERING MANAGEME	2,170	—	—	—	消費者サービス	
YESTAR HEALTHCARE HOLDINGS	8,325	8,325	1,190	16,047	ヘルスケア機器・サービス	
IMAX CHINA HOLDING INC	4,541	—	—	—	メディア・娯楽	
小計	株数・金額	160,227	56,700	91,489	1,233,280	
	銘柄数<比率>	11	7	—	<9.1%>	
(マレーシア)			千マレーシアリンギット			
MY EG SERVICES BHD	18,951	18,951	2,634	66,249	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	18,951	18,951	2,634	66,249	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.5%>	
(タイ)			千タイバーツ			
CP ALL PCL-FOREIGN	—	11,028	93,738	323,396	食品・生活必需品小売り	
MUANGTHAI CAPITAL PCL-FOREIGN	—	6,606	34,516	119,081	各種金融	
小計	株数・金額	—	17,634	128,254	442,477	
	銘柄数<比率>	—	2	—	<3.3%>	
(フィリピン)			千フィリピンペソ			
BANK OF PHILIPPINE ISLANDS	—	5,962	51,929	104,898	銀行	
PREMIUM LEISURE CORP	182,714	182,714	12,241	24,728	消費者サービス	
小計	株数・金額	182,714	188,676	64,171	129,626	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<1.0%>	
(インドネシア)			千インドネシアルピア			
BANK MANDIRI PERSERO TBK	—	55,395	38,914,987	287,970	銀行	
BANK CENTRAL ASIA PT	15,815	16,535	49,646,337	367,382	銀行	
TOWER BERSAMA INFRASTRUCTURE	17,074	—	—	—	電気通信サービス	
小計	株数・金額	32,889	71,930	88,561,325	655,353	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<4.8%>	
(韓国)			千韓国ウォン			
SK HYNIX INC	—	331	2,417,760	210,828	半導体・半導体製造装置	
SAMSUNG SDI CO LTD	—	112	2,740,845	239,001	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	—	778	3,427,971	298,919	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SAMSUNG ELECTRONICS-PREF	1,513	1,572	5,724,264	499,155	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
KOH YOUNG TECHNOLOGY INC	98	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
MEDY TOX INC	19	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
HUGEL INC	82	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額	1,713	2,794	14,310,840	1,247,905	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<9.2%>	
(台湾)			千新台幣ドル			
REALTEK SEMICONDUCTOR CORP	2,340	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
ELITE MATERIAL CO LTD	11,160	1,430	19,090	64,334	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(台湾)	百株	百株	千新台幣ドル	千円		
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	2,528	1,120	28,000	94,360		半導体・半導体製造装置
CHAILEASE HOLDING CO LTD	8,110	—	—	—		各種金融
CHAILEASE HOLDING CO LTD NEW	162	—	—	—		各種金融
SUNNY FRIEND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY	—	1,790	46,898	158,046		商業・専門サービス
SILERGY CORP	600	240	16,512	55,645		半導体・半導体製造装置
TCI CO LTD	—	470	14,194	47,833		家庭用品・パーソナル用品
TCI CO LTD NEW	—	70	2,114	7,126		家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額	24,900	5,120	126,809	427,346	
	銘柄 数 < 比 率 >	6	6	—	<3.1%>	
(インド)			千インドルピー			
INDUSIND BANK LTD	1,260	1,315	182,306	271,637		銀行
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	2,559	856	186,152	277,367		銀行
MRF LTD	8	—	—	—		自動車・自動車部品
HCL TECHNOLOGIES LTD	—	448	49,003	73,015		ソフトウェア・サービス
MANAPPURAM FINANCE LTD	3,215	6,851	83,859	124,950		各種金融
LARSEN & TOUBRO LTD	—	1,172	159,072	237,018		資本財
ITC LTD	6,035	—	—	—		食品・飲料・タバコ
SUN TV NETWORK LTD	532	—	—	—		メディア・娯楽
ADANI PORTS AND SPECIAL ECON	—	3,199	119,026	177,349		運輸
MUTHOOT FINANCE LTD	619	1,264	80,389	119,780		各種金融
HDFC BANK LIMITED	2,203	1,211	273,745	407,880		銀行
REPCO HOME FINANCE LTD	1,401	960	30,311	45,163		各種金融
INDIABULLS HOUSING FINANCE L	2,947	1,326	62,538	93,182		銀行
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	4	—	—	—		各種金融
JSW STEEL LTD	3,496	—	—	—		素材
小 計	株 数 ・ 金 額	24,285	18,605	1,226,406	1,827,345	
	銘柄 数 < 比 率 >	12	10	—	<13.4%>	
(ケニア)			千ケニアシリング			
SAFARICOM LTD	104,016	73,723	207,898	212,056		電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	104,016	73,723	207,898	212,056	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.6%>	
(南アフリカ)			千南アフリカランド			
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD	—	40	4,395	30,285		銀行
NASPERS LTD-N SHS	238	188	64,376	443,554		小売
小 計	株 数 ・ 金 額	238	229	68,772	473,839	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<3.5%>	
(中国…ストックコネク)			千中国元			
HAN'S LASER TECH INDUSTRY	—	688	2,142	31,595		資本財
ZHEJIANG DAHUA TECHNOLOGY-A	3,954	—	—	—		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WULIANGYE YIBIN CO LTD-A	2,237	1,839	24,368	359,437		食品・飲料・タバコ
HANGZHOU HIKVISION DIGITAL A	12,203	—	—	—		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
KWEICHOW MOUTAI CO LTD A	602	202	22,445	331,069		食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	18,996	2,730	48,956	722,101	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	3	—	<5.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	592,632	485,031	—	12,872,503	
	銘柄 数 < 比 率 >	65	61	—	<94.6%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

外国オプション証券等

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	証 券 数	証 券 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	証券	証券	千米ドル	千円
HAN'S LASER TECH(CW/UBS) 6/3/2020	—	110,400	479	50,683
MOBILE WORLD IN (CW/MACQ) 3/31/2020	63,050	84,066	413	43,679
VINCOM RETAIL (CW/CITI) 2/15/2019	630,470	—	—	—
VINCOM RETAIL (CW/MACQ) 3/31/2020	—	1,937,602	2,881	304,677
BANK OF FOREIGN (CW/MACQ) 07/06/21	—	491,820	1,621	171,488
合 計	証 券 数 ・ 金 額	2,623,888	5,396	570,529
	銘柄数 < 比率 >	2	—	< 4.2% >

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

○投資信託財産の構成

(2019年8月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	12,872,503	92.8
オプション証券等	570,529	4.1
コール・ローン等、その他	421,909	3.1
投資信託財産総額	13,864,941	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (13,818,783千円) の投資信託財産総額 (13,864,941千円) に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=105.73円、1メキシコペソ=5.29円、1ブラジルレアル=25.59円、1ユーロ=117.20円、1英ポンド=129.87円、1香港ドル=13.48円、1マレーシアリングット=25.15円、1タイバーツ=3.45円、1フィリピンペソ=2.02円、100インドネシアルピア=0.74円、100韓国ウォン=8.72円、1新台湾ドル=3.37円、1インドルピー=1.49円、1ケニアシリング=1.02円、1南アフリカランド=6.89円、1中国元=14.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月28日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	14,092,799,440	
コール・ローン等	395,240,854	
株式(評価額)	12,872,503,306	
オプション証券等(評価額)	570,529,599	
未収入金	241,093,921	
未収配当金	6,690,815	
差入委託証拠金	6,740,945	
(B) 負債	488,781,664	
未払金	247,921,604	
未払解約金	240,860,000	
未払利息	60	
(C) 純資産総額(A-B)	13,604,017,776	
元本	6,535,541,929	
次期繰越損益金	7,068,475,847	
(D) 受益権総口数	6,535,541,929口	
1万口当たり基準価額(C/D)	20,815円	

(注) 期首元本額8,031,311,483円、期中追加設定元本額381,896,307円、期中一部解約元本額1,877,665,861円。当期末現在における1口当たり純資産額2,0815円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

<組入元本額の内訳>

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース(為替ヘッジあり)	622,671,758円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	2,934,057,685円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	963,991,701円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2,014,820,785円

○お知らせ

2018年8月29日以降において、当マザーファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

2014年12月1日に投資信託及び投資法人に関する法律が改正施行されたことに伴い、信用リスク集中回避のための投資制限として、一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととすることを追加しました。また、信託約款本文「(デリバティブ取引等に係る投資制限)」に記載された制限を「運用の基本方針」にも記載しました。その他所要の変更を行いました。(変更日:2018年11月28日)

○損益の状況 (2018年8月29日~2019年8月28日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	311,253,229	
受取配当金	304,112,015	
受取利息	5,768,836	
その他収益金	1,430,251	
支払利息	△ 57,873	
(B) 有価証券売買損益	△ 2,471,493,688	
売買益	1,654,262,819	
売買損	△ 4,125,756,507	
(C) 先物取引等取引損益	△ 38,154,884	
取引益	59,286,696	
取引損	△ 97,441,580	
(D) 保管費用等	△ 11,610,135	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 2,210,005,478	
(F) 前期繰越損益金	10,998,747,400	
(G) 追加信託差損益金	456,357,030	
(H) 解約差損益金	△ 2,176,623,105	
(I) 計(E+F+G+H)	7,068,475,847	
次期繰越損益金(I)	7,068,475,847	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。